

第2回 The 2nd Annual Meeting of the Japanese Association of Advanced Practice Nursing
日本高度実践看護学会学術集会

高度実践看護の道標

— 実践・教育・研究で描く新たなビジョン —



プログラム集

会期 2026.6.6 (土)・7 (日)

学術集会長 石川 幸司

会場 札幌市教育文化会館

北海道科学大学 保健医療学部 看護学科
急性・重症患者看護専門看護師

〒060-0001

札幌市中央区北1条西13丁目



一般社団法人 日本高度実践看護学会

第2回日本高度実践看護学会学術集会 プログラム

会 期：2026年6月6日（土）・7（日）

テ ー マ：高度実践看護の道標
—実践・教育・研究で描く新たなビジョン—

学術集会長：石川 幸司

（北海道科学大学 保健医療学部 看護学科
急性・重症患者看護専門看護師）

ご挨拶

第2回日本高度実践看護学会学術集会 学術集会長 石川 幸司
(北海道科学大学 保健医療学部 看護学科 急性・重症患者看護専門看護師)



このたび、第2回日本高度実践看護学会学術集会を、2026年6月6日(土)・7日(日)の2日間、札幌市教育文化会館において開催できますことを、大変嬉しく存じます。また、本学術集会の開催にあたり、ご支援とご協力を賜りました関係各位に心より御礼申し上げますとともに、ご参加くださる皆様を札幌の地にお迎えできますことを、心より光栄に存じます。

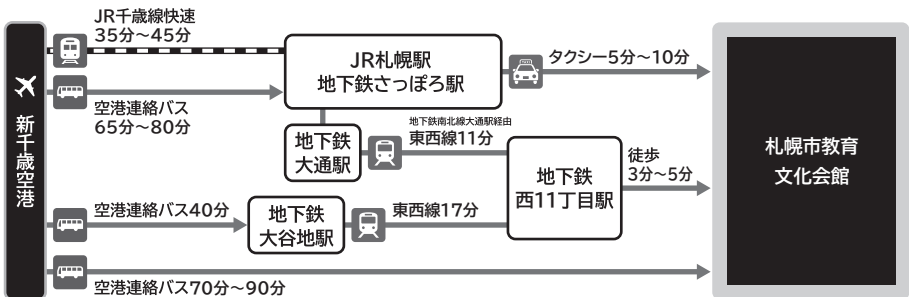
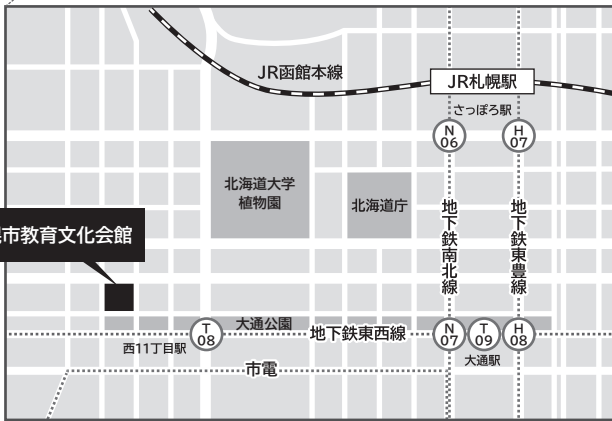
日本高度実践看護学会は、2025年4月に日本専門看護師協会から学会化し、高度実践看護の探究と学術的發展を通して、国民の健康維持・増進に寄与することを目的として新たな歩みを進めてまいりました。学会化により、会員は専門看護師にとどまらず、高度実践看護に携わる実践家、教育者、研究者、さらには高度実践看護に関心をもつ多くの看護職へと広がり、立場や領域を越えて議論できる場が広がっています。この歩みを踏まえて開催する第2回学術集会が、多様な実践の知と学術的探究が出会い、今後の高度実践看護の方向性をともに考える場となることを願っております。

本学術集会のテーマは、「高度実践看護の道標—実践・教育・研究で描く新たなビジョン—」です。高度実践看護を取り巻く社会や医療の環境は大きく変化し、その役割や期待はますます広がっています。そのような中で、日々の実践の中で培われる知、次世代を育む教育、そしてその意義や成果を明らかにする研究を結びつけながら、高度実践看護の現在地とこれからを見つめ、未来へ向かう道標を共有することが重要であると考えております。

プログラムでは、集会長講演「高度実践看護の未来を描く—実践・教育・研究をつなぐ新たな道標—」をはじめ、基調講演、教育講演、シンポジウム、パネルディスカッション、交流集会、一般演題口演(研究・実践報告)、学会主催セミナーなど、多彩な企画を準備しております。研究成果のみならず、現場で培われた実践の知を広く共有し、対話や議論を通して新たな視点と連携の可能性を見いだす機会となれば幸いです。また、学会主催セミナーの受講機会も設けておりますので、知識の研鑽や資格更新の一助としてご活用いただければと存じます。

初夏の札幌は、爽やかな気候のもとで学びと交流を深めるのにふさわしい季節です。皆様と直接お目にかかり、学びと交流のひとつときをご一緒できますことを心より楽しみにしております。本学術集会が、ご参加くださる皆様にとって実り多い学びの場となり、高度実践看護のこれからをともに考え、新たなビジョンを描く2日間となることを心より祈念いたします。

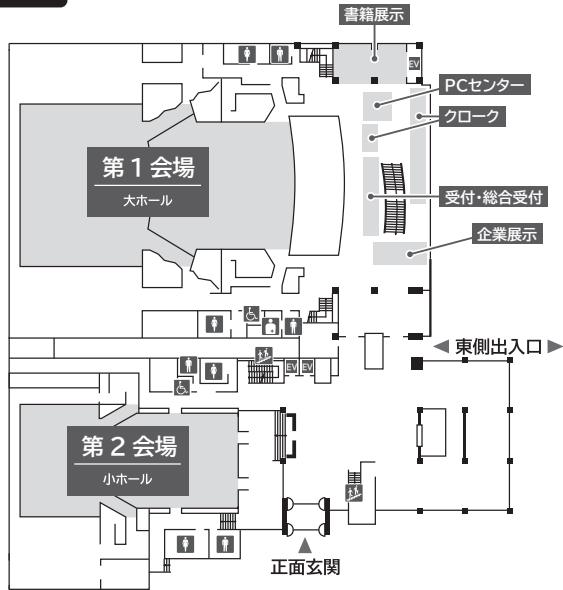
交通のご案内



会場のご案内

札幌市教育文化会館

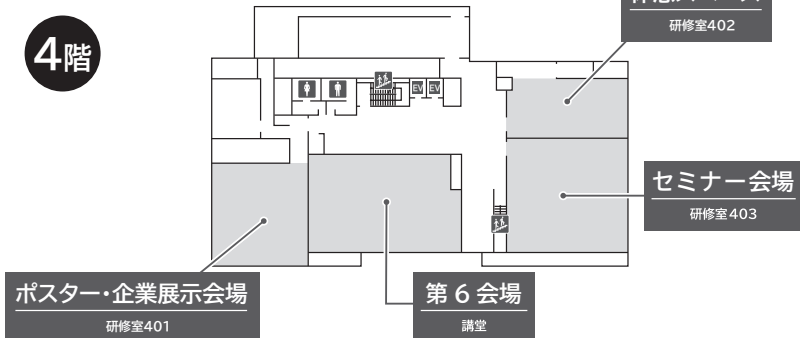
1階



3階



4階



ご 案 内

会 期：2026年6月6日（土）・7日（日）

開催方法：現地開催（一部プログラムは後日オンデマンド配信）

オンデマンド配信期間は2026年6月下旬～1ヶ月程度を予定しております。

1. 受付について

- 参加登録が成立している方
事前発送物はありません。名札は参加登録システムより、各自で印刷のうえご持参ください。名札をお持ちの方は、受付不要でそのまま会場へお進みいただけます。ネームホルダーは受付にご用意しております。会期中はご着用ください。
- 当日参加登録の方（クレジット決済のみ）
オンラインで参加登録・入金後、表示される名札を受付にてご提示ください。

場 所		6月6日（土）	6月7日（日）
受 付	1階 大ホール前ホワイエ	9：30～15：30	9：10～14：15

※会場である札幌市教育文化会館は、9：00開場です。

2. クロークについて

場 所		6月6日（土）	6月7日（日）
クローク	1階 大ホール前ホワイエ	9：30～16：40	9：10～15：20

※傘・貴重品はお預かりできません。荷物は当日中にお引き取りください。

※6月6日（土）の会員総会、懇親会に参加される方は、事前に荷物をお引き取りください。

3. 参加証明書・領収書について

発送はございません。参加登録システムより、各自で発行・印刷をお願いいたします。詳細はホームページ「参加者へのご案内」ページをご確認ください。

4. 抄録集について

印刷はございません。抄録本文はPDFにて閲覧・ダウンロードいただけます。詳細はホームページ「参加者へのご案内」ページをご確認ください。

5. 飲食について

6月6日（土）の共催セミナーではお弁当を配布いたします。事前申込みは不要で、当日整理券を配布いたします（名札着用必須・お一人様1枚・数量限定）。

整理券をお持ちの方を優先的にご案内し、開始と同時に無効となります。開始後、空席がある場合は整理券がない方も入場可能です。

場 所		6月6日（土）
整理券配布場所	1階 大ホール前 ホワイエ	9：30～なくなり次第終了

その他のセッションにつきましては会場内での飲食はご遠慮ください。休憩スペース（4階 研修室402）、1階ロビー（小ホール前）は、飲食可能ですが、ゴミは各自お持ち帰りください（会場内にゴミ箱はございません）。

6. 懇親会について

6月6日（土）18時より、懇親会を開催いたします。事前申込済みの方は直接会場へお越しください。当日参加に空きがある場合は、1階大ホール前のホワイエ総合受付にて当日受付（クレジット決済のみ）を行います。空席状況につきましては、総合受付にてご確認ください。

会 場	La Casa Blanca（ラ カサ ブランカ） 〒060-0093 札幌市中央区北三条西2丁目1番地 NC北専北3条ビル2F
参加費	4,500円（税込）

7. 学会主催セミナーについて

事前申込み制です。お申込み済みの方は、直接会場にお越しください。

8. 市民公開講座について

下記のとおり市民を対象とした講演を行います。

日 時	6月5日（金） 15：00～16：30
会 場	第2会場（1階 小ホール）
テーマ	「もしも」の前に「いつも」を考える
登壇者	司会：石川 幸司（北海道科学大学 保健医療学部 看護学科） 講師：吉田 奈美江（天使大学 看護栄養学部 看護学科） 村中 沙織（天使大学 看護栄養学部 看護学科） 中村 公彦（札幌東徳洲会病院 ICU）
共 催	北海道科学大学、北海道専門看護師の会

9. 会員総会のご案内

6月6日（土） 16：30～17：20 第1会場（1階 大ホール）

総会の参加は学会員に限ります。

10. オンデマンド配信について

配信は第1・第2会場のセッションのみ実施いたします。該当セッションは日程表をご確認ください。

配信ページの URL は、会期後に参加登録時のご登録メールアドレスへお送りいたします。

11. 企業展示・書籍展示について

是非お立ち寄りください。

場 所		6月6日（土）	6月7日（日）
企業展示	ポスター・企業展示（4階 研修室 401） 企業展示（1階 大ホール前ホワイエ）	9：30～16：20	9：10～14：15
書籍展示	書籍展示会場 （1階 大ホール前ホワイエ）		

12. 災害時の避難について

災害発生時は各会場の避難アナウンスに従ってください。

会場では非常口や避難経路を確認し、避難時にエレベーターを使用しないでください。

13. その他

- ・Wi-Fiについて
会場にWi-Fiのご用意はございません。
- ・写真撮影について
会場内での写真撮影、録画、録音はご遠慮ください。雑誌や広報などを目的とした取材に関しては、事前に承認を得たもの限り許可されます。
- ・忘れ物について
会期中の忘れ物については、総合受付（1階 大ホール前ホワイエ）にてお預かりいたします。会期後は会場に預けますので、直接会場にお問い合わせください。

日程表 6月6日(土)

	第1会場 (大ホール)	第2会場 (小ホール)	第3会場 (301)	第4会場 (302)	第5会場 (305)	第6会場 (講堂)	セミナー会場 (403)	ポスター・企業展示会場 (401)		
9:00									9:00	
9:30									9:30	
9:40-10:00	開会式							9:30-11:00 ポスター貼付		
10:00	10:00-10:40 ▶ 集会長講演 高度実践看護の未来を拓く～変革・創新・研究を拓く～ 座長：東 ゆくみ 演者：石川 幸司								10:00	
10:30									10:30	
11:00	10:50-12:20 ▶ シンポジウム 1 高度実践看護の道標 ～それぞれ立場から語る「高度実践看護とは」～ 座長：藤野 智子 演者：永谷 剛石 上野 弘美 西山 みどり 前澤 美代子	10:50-12:20 ▶ パネルディスカッション1 APNが認知されるためのはじめの一歩～組織内における役割確立に向けた戦略～ 座長：田中 久美 岡村 英明 山北 紗静 山田 琴絵 渡部 大地 岡本 充子	11:00-12:00 講演 1 高度実践 1 座長：牧野 晃子 岩本 大希	10:50-12:20 交流集会 1 第1弾：地域看護・在宅看護 CNSの日々の実践を共有しよう！～地域に暮らす人々と家族のための看護を考える～ 企画代表者：鹿内 あずさ	10:50-12:20 交流集会 2 高度実践看護の未来を拓く「道標(あきらめるべ)」の共創～専門職としての歩みを分かち合い、次なる一歩を繋ぐ対話の場～ 企画代表者：森田 恭平	11:00-12:00 講演 2 教育 1 座長：櫻松 久美子 櫻庭 奈美	10:50-12:20 学会主催セミナー 1 倫理的(モラル)レジリエンスを高めるセルフマネジメント～「心のもやもや」の傾向を知り、改善につなげるスキルを身につけよう～ 司会：井上 真奈美 講師：神田 直樹 ファシリテーター：井上 真奈美 伊藤 聖美	11:00-11:50 ポスター 1 多職種連携・調整・その他 座長：村中 沙織 東谷 敬介	11:00	
11:30									11:30	
12:00									12:00	
12:30									12:30	
13:00		12:30-13:30 共催セミナー 1 患者・医者にとってより良いケアとは？～留置後のPICC管理を考える～ 座長：菅野 かおり 演者：田中 千晶 松橋 詩織 共催：日本ペントックインソル株式会社					12:30-13:30 共催セミナー 2 ミッドラインカテーテルの新たな可能性 座長：石岡 明子 演者：渡部 大地 共催：テルモ株式会社	12:30-13:30 共催セミナー 3 高度実践看護師によるRPSの臨床実装-EWSを活用した判断と調整～ 座長：塩山 純二 演者：森 一直 共催：フクダコーリン株式会社		13:00
13:30									13:30	
13:40-14:40 ▶	基調講演 わが国の高度実践看護の歩みと今後に期待するもの 座長：石川 幸司 演者：中村 恵子					13:40-14:40 講演 3 多職種連携・調整 1 座長：鶴屋 邦江 高橋 奈美	13:40-14:40 交流集会 3 「高度実践看護」提供者を育成するカリキュラムについて語る 企画代表者：川原 千香子		14:00	
14:30		14:10-15:10 ▶ 教育講演 1 Patient Journeyに学ぶ本当の「患者中心」とは 座長：菅原 美樹 演者：山口 育子					14:00-14:30 学会企画 学会別：高度実践看護の西進化から看護科までの発展！ 座長：武村 百子		14:30	
15:00	14:50-16:20 ▶ シンポジウム 2 高度実践看護師の育成と未来を考える 座長：森 一直 市原 真穂 演者：長内 せひり 渡邊 眞理 西島 隆子 忠 雅之	15:20-16:20 ▶ 教育講演 2 高度実践看護師と看護管理者の協働～視点の違いを力に変えて看護の可能性を広げよう～ 座長：田中 いずみ 演者：武村 雪絵	14:50-16:20 交流集会 4 共同意思決定(SDM)のコンピテンシーを基礎教育とAPN継続教育でつなぐ教育設計 企画代表者：池田 達弥	14:50-16:20 交流集会 5 教育・研修委員会企画 高度実践看護の「技」とは何か？～相互理解から生まれる新たな価値の創出～		14:50-16:20 パネルディスカッション2 CNSとNPが語る高度実践看護の最前線～事例から学ぶビジネスと協働のかたち～ 座長：西村 ちえ 神松 久美子 演者：鶴田 理恵 森本 真子 原 光明	14:50-16:20 学会主催セミナー 2 APNが行うスタッフ教育の機軸(コソ)！ 司会：鹿内 あずさ 平山 さおり 講師：部川 恵利加 樋口 秋穂	15:20-16:00 ポスター 2 看護倫理・意思決定支援 座長：戸沢 智也 宮岡 里衣	15:00	
15:30									15:30	
16:00									16:00	
16:30	16:30-17:20 会員総会								16:30	
17:00									17:00	
17:30									17:30	
18:00									18:00	

※▶本マークのセッションはオンデマンド配信予定です

日程表 6月7日(日)

	第1会場 (大ホール)	第2会場 (小ホール)	第3会場 (301)	第4会場 (302)	第5会場 (305)	第6会場 (講堂)	セミナー会場 (403)	ポスター・企業展示会場 (401)		
9:00									9:00	
9:30	9:30-11:00 ▶ シンポジウム3 高度実践看護のアウトカム→パラディグムと科学の融合によるAPNの価値証明 座長:長坂 桂子 演者:楳山 定美 木村 千尋 植木 博子 大川 恵	9:30-10:30 ▶ 教育講演3 研究力と実践力をつなぐ・DNPの役割と展望 座長:佐藤 直子 演者:吉田 俊子	9:30-10:20 口演5 システム変革・その他 座長:駒田 理恵 牧野 夏子	9:30-10:30 交流集会6 政策提言委員会企画 アウトカムを捉えた高度実践看護師 (APN) 実践を制度、政策につなげよう	9:30-11:00 交流集会7 【進学希望者・大学生・若手 CNS/NP 対象】 At the Vanishing Point of Possibility —あなたの一歩が、未来をかえろ— 企画代表者:坂本 貴紀	9:50-10:50 口演6 看護倫理・意思決定 座長:向井 謙田 未栄	9:50-10:50 学会主催セミナー3 高度実践看護 言語化のコツ! 司会:藤村 直樹 事例提供者:太田 愛	9:30-10:20 ポスター3 教育 座長:江波戸 和子 菅 栞也	9:30	
10:00									10:00	
10:30									10:30	
11:00		10:40-12:10 ▶ シンポジウム4 Academic Nursing Practiceの実践—臨床・教育・研究の分界を超えた連携モデル— 座長:鹿内 百子 長田 鏡子 演者:坂本 孝輔 本田 和也 和田 由樹 井沢 知子	10:35-11:25 口演7 役割拡大 座長:吉森 容子 平井 亮樹	10:45-12:10 交流集会8 CNSあり方検討委員会企画 CNSの30年を振り返り、未来のCNSの役割を拓く		11:10-12:00 口演8 教育2 座長:坂本 謙世 青柳 道子			10:35-11:15 優秀演題ポスター 座長:上野 弘美 川原 千香子 審査員:田口 裕紀子 神田 直樹	11:00
11:30	11:10-12:10 ▶ 教育講演4 看護実践モデル開発への道—研究プロセスと看護実践への応用— 座長:宇都宮 明美 演者:片岡 弥恵子		11:40-12:30 優秀演題口演 座長:河野 伸子 山下 いずみ 審査員:田口 裕紀子 神田 直樹			11:15-12:45 パネルディスカッション3 私たち APNは何を予断ししているのか?—予測的アセスメントと予断的介入が医療と社会を支える— 座長:荒井 知子 山岸 眺美 演者:向井 拓也 井上 真奈美 伊波 戸沢 智也	11:10-12:40 学会主催セミナー4 Help! コンサルテーション! 司会:村本 好孝 講師:米田 重理子 作田 麻由美	11:30-12:10 ポスター4 高度実践 座長:中谷 美紀子 中村 江衣	11:30	
12:00									12:00	
12:30	12:20-13:20 ▶ 教育講演5 高度実践看護師に求められるコンピテンシーと教育 座長:藤原 由佳 演者:齋岡 真美		12:45-13:35 口演9 コンサルテーション 座長:谷島 和幸 梅澤 志乃		12:20-13:50 交流集会9 高度実践看護検討委員会企画 CNSとNPの対話から探究する高度実践看護の共創				12:30	
13:00									13:00	
13:30	13:30-15:00 ▶ シンポジウム5 政策と組織をつなぐ高度実践看護—持続可能なAPNモデルの構築に向けて— 座長:藤田 冬子 寺岡 征太郎 演者:山田 雅子 伊藤 健大 河野 佐代子 萩原 綾子	13:30-15:00 ▶ パネルディスカッション4 臨床と研究をどう架橋していくか?—Evidence = Practiceの循環をつくる高度実践看護— 座長:米田 昭子 津田 泰伸 井上 智恵 由美 昌洋 友滝 愛	13:50-14:50 口演10 高度実践3 座長:小川 謙 石川 光世	13:50-14:50 口演11 多職種連携・調整2 座長:坂本 孝輔 作田 麻由美		13:30-15:00 パネルディスカッション5 誰もが見えない時代の到来—地域共生社会×APNが輝く幸せのカタチ— 座長:鹿内 あずさ 伊藤 真理 演者:佐藤 直子 三輪 節子 野島 弘基 樋口 秋穂	13:50-14:50 学会主催セミナー5 専門看護師の調整力を可視化する。事例で紐解く実践のプロセス 司会:井口 久美 夏子 明子 中村 美乃生 片田 将司	13:30-14:30 ポスター撤去	13:30	
14:00									14:00	
14:30									14:30	
15:00	15:00- 優秀演題表彰式 閉会式								15:00	
15:30									15:30	
16:00									16:00	
16:30									16:30	
17:00									17:00	
17:30									17:30	
18:00									18:00	

大会プログラム

集会長講演

第1会場 (大ホール)

6月6日 (土) 10:00-10:40

高度実践看護の未来を描く
—実践・教育・研究をつなぐ新たな道標—

座長：東 めぐみ 順天堂大学 保健看護学部 医療看護学研究所

- 石川 幸司
北海道科学大学 保健医療学部 看護学科

基調講演

第1会場 (大ホール)

6月6日 (土) 13:40-14:40

わが国の高度実践看護の歩みと今後に期待するもの

座長：石川 幸司 北海道科学大学 保健医療学部 看護学科

- 中村 恵子
札幌市立大学

教育講演

教育講演 1

第2会場 (小ホール)

6月6日 (土) 14:10-15:10

Patient Journeyに学ぶ本当の“患者中心”とは

座長：菅原 美樹 札幌市立大学

- 山口 育子
認定NPO法人 ささえあい医療人権センター COML

教育講演 2

第2会場 (小ホール)

6月6日 (土) 15:20-16:20

高度実践看護師と看護管理者の協働
—視点の違いを力に変えて看護の可能性を広げよう—

座長：田中 いずみ 医療法人深仁会 手稲深仁会病院

- 武村 雪絵
東京大学医学部附属病院

教育講演 3

第2会場 (小ホール)

6月7日 (日) 9:30-10:30

研究力と実践力をつなぐ DNPの役割と展望

座長：佐藤 直子 聖路加国際大学 / 東京ひかりナースステーション

○吉田 俊子

聖路加国際大学大学院 看護学研究科

教育講演 4

第1会場 (大ホール)

6月7日 (日) 11:10-12:10

看護実践モデル開発への道 —研究プロセスと看護実践への応用—

座長：宇都宮 明美 関西医科大学 看護学部 看護学研究科クリティカルケア看護学領域

○片岡 弥恵子

聖路加国際大学大学院 ウィメンズヘルス・助産学

教育講演 5

第1会場 (大ホール)

6月7日 (日) 12:20-13:20

高度実践看護師に求められるコンピテンシーと教育

座長：藤原 由佳 清水メディカルクリニック

○萱間 真美

日本看護学会協議会理事 APNブランドデザイン委員長 / 国立健康危機管理研究機構 国立看護大学校

シンポジウム

シンポジウム1：高度実践看護の道標 ―それぞれの立場から語る「高度実践看護とは」― 第1会場（大ホール）

6月6日（土）10:50-12:20

座長：藤野 智子 聖マリアンナ医科大学病院
梅田 恵 株式会社緩和ケアパートナーズ

診療看護師（NP）が担う高度実践看護の役割と価値

○永谷 創石

帝京大学医学部附属病院 外傷センター / 帝京大学 医療技術学研究所看護学専攻

高度実践看護の実装と広がり―救急・集中治療領域における高度実践看護と看護管理の実践―

○上澤 弘美

社会福祉法人同愛記念病院財団 同愛記念病院

老人看護領域における高度実践看護を考える

○西山 みどり

有馬温泉病院

大学教員で専門看護師の立場から実践と教育と社会貢献を中心に

○前澤 美代子

山梨県立大学

シンポジウム2：高度実践看護師の育成と未来を考える

第1会場（大ホール）

6月6日（土）14:50-16:20

座長：森 一直 愛知医科大学病院 NP部
市原 真穂 千葉県立保健医療大学 看護学科

高度実践看護師の育成

―地域社会および教育の現状を踏まえ魅力ある持続可能なカリキュラム構成とその実装について―

○長内 さゆり

天使大学 看護栄養学部 看護学科 看護栄養学研究所看護学専攻

看護管理者の経験を生かしたがん看護専門看護師の育成

○渡邊 真理

湘南医療大学 保健医療学部 看護学科 / 湘南医療大学大学院 保健医療学研究所保健医療学専攻

臨床現場における高度実践看護師育成の実装―管理者の立場からAPNを育て、活かし、評価する―

○葛西 陽子

手稲溪仁会病院 看護管理室

高度実践看護師の社会実装を見据えた診療看護師教育

―教育・実習・臨床をつなぐ育成基盤の構築―

○忠 雅之

東京医療保健大学大学院 看護学研究所

シンポジウム3：高度実践看護のアウトカム —ナラティブと科学の融合によるAPNの価値証明— 第1会場（大ホール）

6月7日（日）9:30-11:00

座長：長坂 桂子 京都橘大学 看護学部
東 めぐみ 順天堂大学 保健看護学部 医療看護学研究所

急性期領域におけるAPNの臨床判断と代理意思決定支援

○縦山 定美
獨協医科大学

高度実践看護の価値：人々の健康を支えるアドボカシー

○木村 千尋
雲南市立病院

慢性腎臓病患者が自分自身で決める力を支えるAPNの役割—透析非選択患者への介入から—

○植木 博子
公立福生病院 腎臓病総合医療センター 看護部

遺伝看護専門看護師による高度看護実践の価値やアウトカムとは何か？

—不可視な価値と、可視化できるアウトカム—

○大川 恵
聖路加国際病院

シンポジウム4：Academic Nursing Practiceの実装 —臨床・教育・研究の分断を超えた連携モデル— 第2会場（小ホール）

6月7日（日）10:40-12:10

座長：武用 百子 大阪大学大学院 医学系研究科
長田 暁子 近畿大学 看護学部

臨床の小さな気づきをエビデンスへつなぐAcademic Nursing Practiceの実装

○坂木 孝輔
東京慈恵会医科大学 医学部 看護学科

Academic Nursing Practiceを創造する力—APNにおける知の共有と研究実践の循環—

○本田 和也
純真学園大学大学院 保健医療学研究所看護学専攻 診療看護師（NP）コース

専門看護師の実装を可視化するには—アンケート調査結果から考える連携モデル—

○和田 由樹
聖隷クリストファー大学

Academic Nursing Practiceにおける実践・教育・研究をつなぐ取り組み

—大学と臨床のダブルアポイントメントの経験から—

○井沢 知子
京都大学大学院 医学研究科

6月7日（日）13:30-15:00

座長：藤田 冬子 神戸女子大学大学院 看護学研究科
寺岡 征太郎 帝京大学 医療技術学部 看護学科

地域看護専門看護師が目指してきたこと

- 山田 雅子
聖路加国際大学大学院 看護学研究科

人口減少地域における診療看護師（NP）の実践と地域医療ケアモデルの構造化
—co-managementと意思決定支援を基盤として—

- 伊藤 健大
訪問看護ステーション ウェルビー

高度実践から組織実装、そして普遍化へ—高度実践を組織の標準へ変えるAPNの役割—

- 河野 佐代子
慶應義塾大学 看護医療学部

政策と臨床をつなぎ、組織を変える実践知の専門職をめざして

- 萩原 綾子
地方独立行政法人神奈川県立病院機構 本部事務局

パネルディスカッション

パネルディスカッション1：APNが認知されるためのはじめの一歩 —組織内における役割確立に向けた戦略— 第2会場（小ホール）

6月6日（土）10:50-12:20

座長：田中 久美 公益財団法人筑波メディカルセンター 筑波メディカルセンター病院
岡村 英明 NTT東日本札幌病院 診療支援部 診療看護師室

CNS不在の組織における活動の基盤形成に向けた取り組み—鳴らないスマホを鳴らすために—

- 山北 紗静
NTT東日本札幌病院 ICU

専門看護師が新たな組織で活動する道程

- 山田 琴絵
JA北海道厚生連 旭川厚生病院

他者との相互作用から立ち上がるAPNの役割形成プロセス—センスメイキングの視点から—

- 渡部 大地
医療法人深仁会 手稲深仁会病院

組織ニーズと専門性をつなぐ—CNSとしての実践と看護管理者としてのAPN活用の視点—

- 岡本 充子
社会医療法人近森会

6月6日（土）14:50-16:20

座長：西村 ちえ St. Luke's Clinic Ala Moana
樽松 久美子 北里大学病院 救命救急・災害医療センター 救命救急病棟

演者：鶴田 理恵 大阪公立大学医学部附属病院 看護部
春名 寛香 北播磨総合医療センター 看護キャリア開発支援室
森本 景子 独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立西神戸医療センター
原 光明 株式会社ORINAS 訪問看護ステーションオリナス

6月7日（日）11:15-12:45

座長：荒井 知子 杏林大学医学部附属病院
山岸 暁美 コミュニティヘルス研究機構 / 慶應義塾大学 医学部 公衆衛生学教室

総合内科における高度実践看護師の予測的アセスメント及び予防的介入が支える「つながる予防」に向けた実践

○向井 拓也
洛和会音羽病院

急性期における予測的アセスメントと“未然に防ぐ”看護実践

○井上 真奈美
社会医療法人孝仁会 札幌孝仁会記念病院

したい生活ができなくなることを予防するAPNと管理者の働き

○伊波 早苗
社会医療法人誠光会

慢性疾患看護専門看護師による予防的実践の特性―外来看護における広義の予防とその構造―

○戸沢 智也
獨協医科大学 看護学部 / 獨協医科大学病院 看護部

6月7日（日）13:30-15:00

座長：米田 昭子 そよぎハート&ライフクリニック 湘南平塚
津田 泰伸 聖マリアンナ医科大学 看護部 TQM室

実践を語り続けることの意味

～実践の拠りどころとしての「看護の教育的関わりモデル」とともに～

○井上 智恵

京都済生会病院 看護部

DNPコースで培ったスキルを活かして臨床現場の質改善に挑む

—国産DNP第1号の経験から—

○井出 由美

昭和医科大学大学院 保健医療学研究所臨床ケア開発学領域 / 昭和医科大学病院 総合周産期母子医療センター 新生児部門

高度実践看護師による「臨床」と「研究」の架橋を実現する組織体制の構築

○黒澤 昌洋

愛知医科大学大学院 看護学研究科

高度実践看護師による臨床と研究の架橋

—エビデンスに基づくヘルスケアと普及・実装研究の見聞から

○友滝 愛

東京大学大学院 医学系研究科社会連携講座 ナーシングデータサイエンス講座

6月7日（日）13:30-15:00

座長：鹿内 あずさ 北海道文教大学 医療保健科学部 看護学科
伊藤 真理 大阪医科薬科大学 看護学部

今一度捉え直す【地域共生社会とはなにか】

○佐藤 直子

聖路加国際大学 / 東京ひかりナースステーション

地域にひらくケアの場づくり～コミュニティエンパワメントの実践

○三輪 恭子

大阪公立大学

誰も取り残さず、笑顔で暮らせる地域へ—浦河町の未来予想図から考える—

○野島 弘基

医療法人社団同行人会 エマオ訪問看護ステーション

地域みんなでタスクシフト・シェア

～恵庭市のとりこぼさないとりのこさない支援体制づくりの一員として～

○樋口 秋緒

社会医療法人北農会 介護老人保健施設恵み野ケアサポート

6月6日 (土) 14:00-14:30

学会発！高度実践看護の言語化から書籍発刊までの挑戦！

座長：武用 百子 大阪大学大学院 医学系研究科
 演者：宇都宮 明美 関西医科大学 看護学部 看護学研究科
 筑井 菜々子 公益社団法人地域医療振興協会 JADEC.COMアカデミー NP・NDC研修センター
 平原 優美 公益財団法人 日本訪問看護財団
 戸沢 智也 獨協医科大学 看護学部 / 獨協医科大学病院 看護部

交流集会

交流集会1

第4会場 (302)

6月6日 (土) 10:50-12:20

第1弾：地域看護・在宅看護CNSの日々の実践を共有しよう！
 ～地域に暮らす人たちと家族のための看護を考える～

企画代表者・座長：鹿内 あずさ 北海道文教大学
 演者：石岡 道子 医療法人深仁会 はまなす訪問看護ステーション
 行田 菜穂美 聖マリアンナ医科大学病院
 新家 静 高槻市保健所

交流集会2

第5会場 (305)

6月6日 (土) 10:50-12:20

高度実践看護の未来を拓く「道標(みちしるべ)」の共創
 ～専門職としての歩みを分かち合い、次なる一步を繋ぐ対話の場～

企画代表者：森田 恭平 みんなのかかりつけ訪問看護ステーション
 演者：藤野 泰平 みんなのかかりつけ訪問看護ステーション

交流集会3

セミナー会場 (403)

6月6日 (土) 13:40-14:40

「高度実践看護」提供者を育成するカリキュラムについて語ろう

企画代表者・座長：川原 千香子 帝京大学 シミュレーション教育研究センター
 演者：関口 奈津子 帝京大学 医療技術学部研究科看護学専攻 高度実践看護学診療看護師(NP)コース
 増山 純二 令和健康科学大学 臨床シミュレーションセンター
 八木 街子 自治医科大学 看護師特定行為研修センター

6月6日(土) 14:50-16:20

共同意思決定(SDM)のコンピテンシーを基礎教育と
APN継続教育でつなぐ教育設計

企画代表者：池田 達弥 東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科
 座長：西村 礼子 東京医療保健大学
 演者：池田 達弥 東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科
 黒澤 昌洋 愛知医科大学 看護学部
 津田 泰伸 聖マリアンナ医科大学病院 看護部 / TQM室
 齋藤 大輔 愛知医科大学病院 看護部

6月6日(土) 14:50-16:20

教育・研修委員会企画

高度実践看護の「技」とは何か？
一相互理解から生まれる新たな価値の創出—

座長：岩田 友子 地方独立行政法人 桑名市総合医療センター
 増田 誠一郎 志太DM・内科クリニック
 演者：中村 祥英 静岡県立総合病院
 若狭 竜太 日本医科大学千葉北総病院
 糸川 紅子 日本赤十字東北看護大学

6月7日(日) 9:30-10:30

政策提言委員会企画

アウトカムを見据えた高度実践看護師(APN)実践を制度、政策につなげよう

座長：伊波 早苗 社会医療法人誠光会
 鶴屋 邦江 医療法人実風会 新生病院
 演者：藤田 冬子 神戸女子大学大学院 看護学研究科
 萩原 綾子 地方独立行政法人神奈川県立病院機構 本部事務局
 森 一直 愛知医科大学病院 NP部 / 愛知医科大学 看護学部
 井沢 知子 京都大学大学院 医学研究科

6月7日(日) 9:30-11:00

【進学希望者・大学院生・若手 CNS/NP 対象】

At the Vanishing Point of Possibility —あなたの一歩が、未来をかえる—

企画代表者・座長：坂本 貴紀 京都大学医学部附属病院
演者：大森 泉 クローバースマイル訪問看護ステーション
近藤 穂亮 聖路加国際病院
永谷 創石 帝京大学 医療技術学研究科
池田 達弥 東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科

6月7日(日) 10:45-12:10

CNSあり方検討委員会企画

CNSの30年を振り返り、未来のCNSの役割を拓く

座長：佐藤 直子 聖路加国際大学 / 東京ひかりナースステーション
演者：梅田 恵 株式会社緩和ケアパートナーズ
寺岡 征太郎 帝京大学 医療技術学部看護学部
岩本 大希 ウィル株式会社

6月7日(日) 12:20-13:50

高度実践看護検討委員会企画

CNSとNPの対話から探究する高度実践看護の共創

座長：長坂 桂子 京都橘大学
演者：植田 恵 株式会社緩和ケアパートナーズ
西山 みどり 有馬温泉病院
本田 和也 純真学園大学
黒澤 昌洋 愛知医科大学
森 一直 愛知医科大学病院
西村 ちえ ハワイ・聖ルカクリニック

学会主催セミナー

学会主催セミナー 1：倫理・意思決定支援

セミナー会場 (403)

6月6日(土) 10:50-12:20

倫理的(モラル)レジリエンスを高めるセルフマネジメント
～“心のもやもや”の傾向を知り、改善につなげるスキルを身につけよう～

司会：井上 真奈美 札幌孝仁会記念病院

講師：神田 直樹 北海道医療大学

ファシリテーター：井上 真奈美 札幌孝仁会記念病院

伊藤 聖美 医療法人深仁会 手稲溪仁会病院

学会主催セミナー 2：教育

セミナー会場 (403)

6月6日(土) 14:50-16:20

APNが行うスタッフ教育の極意(コツ)！

司会：鹿内 あずさ 北海道文教大学

平山 さおり KKR札幌医療センター

講師：部川 玲子 北見赤十字病院

路川 恵利加 総合病院 土浦協同病院

樋口 秋緒 医療法人北晨会 介護老人保健施設 ケアサポート

学会主催セミナー 3：実践

セミナー会場 (403)

6月7日(日) 9:50-10:50

高度実践看護 言語化のコツ！

司会：桑村 直樹 医療法人深仁会 手稲溪仁会病院 看護部

講師：米田 昭子 日本高度実践看護学会理事

事例提供者：太田 愛 医療法人深仁会 手稲溪仁会病院 看護部

学会主催セミナー 4：コンサルテーション

セミナー会場 (403)

6月7日(日) 11:10-12:40

Help！コンサルテーション！

司会：村本 好孝 株式会社ここから

講師：川添 恵理子 北海道医療大学 看護福祉学部 看護学科

作田 麻由美 小樽市立病院 看護部

6月7日(日) 13:50-14:50

専門看護師の調整力を可視化する：事例で紐解く実践のプロセス

司会：井口 久美 天使大学 看護栄養学部
 講師：牧野 夏子 札幌市立大学 看護学部
 石岡 明子 北海道大学病院 看護部
 中村 美乃生 独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター HCU
 片田 将司 社会医療法人厚生会 中部国際医療センター 診療部 救急科

共催セミナー

共催セミナー1

第2会場 (小ホール)

6月6日(土) 12:30-13:30

患者・医療者にとってより良いカテーテルとは？～留置後のPICC管理を考える～

座長：菅野 かおり 学校法人大阪医科薬科大学 看護キャリアサポートセンター 認定看護師教育課程

- 田中 千晶
愛知医科大学病院 NP部
- 松橋 詩織
JCHO東京高輪病院 診療部循環器内科

共催：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

共催セミナー2

第5会場 (305)

6月6日(土) 12:30-13:30

ミッドラインカテーテルの新たな可能性
 困難静脈患者に対する血管アクセス戦略
 一患者体験 (PX) を踏まえたミッドラインカテーテルの臨床的位置づけ

座長：石岡 明子 北海道大学病院 看護部

- 渡部 大地
医療法人深仁会 手稲深仁会病院 看護部 麻酔科集中治療部

共催：テルモ株式会社

共催セミナー3

第6会場 (講堂)

6月6日(土) 12:30-13:30

高度実践看護師によるRRSの臨床実装—EWSを活用した判断と調整—

座長：増山 純二 令和健康科学大学 看護学部看護学科 実践看護学 / 令和健康科学大学大学院 実践看護学コース (NP養成プログラム)

- 森 一直
愛知医科大学病院 NP部 / 愛知医科大学 看護学部

共催：フクダコーリン株式会社

6月7日(日) 11:40-12:30

座長：河野 伸子 横須賀共済病院 看護管理科
 山下 いずみ 江別市立病院 看護部
 審査員：田口 裕紀子 札幌医科大学 保健医療学部 看護学科
 神田 直樹 北海道医療大学 看護福祉学部 看護学科

AO-1 うつ病回復期にある人の服薬治療の共同意思決定のプロセスと看護支援

○江波戸 和子
 帝京平成大学 ヒューマンケア学部

AO-2 倫理的風土づくりに関するアクションリサーチ（第一報）—2年間の取り組みと課題—

○工藤 光生¹⁾、今野 麻衣子²⁾、佐藤 博昭²⁾、伊藤 結貴²⁾、佐藤 宏幸²⁾、納富 理絵²⁾、伊藤 めぐみ²⁾
 1) 秋田大学大学院 看護学研究科 保健学専攻 看護学講座、2) 秋田大学医学部附属病院

AO-3 複数領域の専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了者により編成された重症化予防チームラウンドの意義—高度急性期病院でのニーズと対応の実態—

○川村 優紀子、武井 千寿、小林 大祐、有泉 凱、宮久保 朱実、森澤 恵美子
 地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立中央病院

AO-4 CLABSI発生増加を契機としたICUカテーテルラウンドによる教育の実践報告

○新山 和也
 埼玉医科大学国際医療センター

6月6日(土) 11:00-12:00

座長：牧野 晃子 聖路加国際大学大学院 看護学研究科急性期看護学
 岩本 大希 WYL株式会社

O1-1 診療看護師（NP）および専門看護師（CNS）の高度実践看護としての協働実践の特徴

○田中 千晶¹⁾、平尾 由香²⁾、高林 拓也¹⁾、森 一直¹⁾
 1) 愛知医科大学病院 NP部、2) 愛知医科大学病院 看護部

O1-2 ICUサバイバーの心理・精神的体験の時間的変容：質的統合

○森 まどか^{1,2)}、武用 百子¹⁾
 1) 大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻、2) 社会医療法人清恵会 清恵会病院

O1-3 重症心身障害児・医療的ケア児に関わる小児看護専門看護師が行う看護実践の特徴

○仁宮 真紀¹⁾、鈴木 千琴²⁾、高 真喜³⁾、黒田 光恵⁴⁾、市原 真穂⁵⁾
 1) 旭川荘療育・医療センター、2) 済生会横浜市東部病院、3) 浜松市医療的ケア児等支援センター、
 4) 筑西いけだクリニック、5) 千葉県立保健医療大学

- 1-4 母親の告知への揺らぎを捉えACPへつなげた意思決定支援の一例
○池田 定代、田村 美紀
順天堂大学医学部附属静岡病院
- 1-5 回復が見込めない脳出血患者の家族にみる「曖昧な喪失」への支援
ーリエゾンナースによるコンサルテーションの省察ー
○宮原 慶江
聖路加国際病院
- 1-6 AYA世代がん患者への支援に向けた院内システム構築におけるOCNSの役割
○根本 さくら
日本医科大学付属病院

□演2：教育1

第6会場（講堂）

6月6日（土）11:00-12:00

座長：樽松 久美子 北里大学病院 看護部
櫻庭 奈美 埼玉医科大学 保健医療学部 看護学科

- 2-1 急性期総合病院における看護職員リーダー層を対象とした「患者・家族からの暴力防止、対応研修」による意識の変化と課題
○小池 直哉、梅野 直美、重松 淳子、奥津 啓子、芝 淳宏
日本赤十字社 武蔵野赤十字病院
- 2-2 専門看護師が実践するラダー支援研修「臨床推論」の初年度評価
○大田 麻美、奥野 史子
日本赤十字社 伊勢赤十字病院
- 2-3 小さなチームで大きな変化を生むCritical Care Outreach Team（CCOT）活動の成果と今後の課題
○加賀 真理、境 加奈子、金田 八葉美、宮永 恵子、山下 涼子、岸本 博、福永 博子
兵庫県立はりま姫路総合医療センター
- 2-4 A病院集中治療室に配属されたスタッフに対する教育体制構築への取り組み
○矢吹 麗奈、栗山 千秋、稲月 成美、大関 武、松田 武賢
筑波大学附属病院
- 2-5 NP教育課程修了後研修における教育担当者配置の意義
研修者アンケートからみた教育的実践
○高林 拓也、森 一直
愛知医科大学病院
- 2-6 精神看護専門看護師による「存在の承認」を軸とした教育的介入の検討
～精神看護学実習における学生の内発的動機づけと治療的自己の形成に着目して～
○平井 尚子、大崎 千恵子、田中 直
昭和医科大学大学院 保健医療学研究科

6月6日(土) 13:40-14:40

座長：鶴屋 邦江 医療法人実風会 新生病院
高橋 奈美 札幌市立大学

- 3-1 未告知下にある若年心不全患者の療養場所選択における自律支援とCNSの調整
○小野 孝夫
日本鋼管病院
- 3-2 意思決定困難となった身寄りがいない高齢者の多重課題の解決に向けた在宅看護専門看護師の思考と実践
○早川 未来
東邦大学医療センター佐倉病院
- 3-3 CNSの早期調整介入により短期間で住み慣れた地域に復帰できた一例
○古屋 曜子
順天堂大学医学部附属静岡病院
- 3-4 経口摂取再獲得と気管カニューレ管理習得の支援した自宅退院に向けた高度実践看護師の多職種連携調整
○杉山 理恵
日本医科大学付属病院
- 3-5 救急外来と訪問看護の連携による再入院予防の取り組み
○岡崎 航
みんなのかかりつけ訪問看護ステーション札幌北
- 3-6 臓器移植医療に関わる診療看護師 (NP) の実践能力
○片田 将司¹⁾、岩瀬 塔真¹⁾、浅野 好孝¹⁾、齋藤 史朗¹⁾、山田 実貴人¹⁾、黒澤 昌洋²⁾、森 一直³⁾
1) 社会医療法人厚生会 中部国際医療センター 診療部 救急科、2) 愛知医科大学大学院 看護学研究科、3) 愛知医科大学病院 NP部

6月6日(土) 15:20-16:20

座長：渡邊 直美 東京女子医科大学病院 がんセンター緩和ケア室・看護部教育
渡部 大地 医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 看護部

- 4-1 夜間ラウンドでの対応が効果的であった事例
○福山 雄三、福川 摩耶
日本医科大学多摩永山病院
- 4-2 総合消化器外科に所属する診療看護師の実践と役割一周術期診療における高度実践の実際—
○沼田 悠希¹⁾、稲葉 一樹²⁾
1) 藤田医科大学病院 FNP室、2) 藤田医科大学 先端ロボット・内視鏡手術学

- 4-3 災害派遣体制と院内災害対応体制の一体化とその強化を目的とした新設組織形成の取り組み
○寺内 文平
一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院
- 4-4 人工呼吸下頸髄損傷患者の意思疎通を支えるために、退院後訪問を通じてカフ上発声法の継続を実現した1症例
○山田 亨^{1,2)}、山崎 香代^{1,3)}、久保 亜希子¹⁾、小原 雅子¹⁾
1) 東邦大学医療センター大森病院 看護部 看護管理室、
2) 東邦大学医療センター大森病院 呼吸ケアチーム、3) 東邦大学医療センター大森病院 嚙下チーム
- 4-5 診療看護師 (NP) によるCare Process Modelsを活用した深部静脈血栓症への対応実践報告
○大津 昌成^{1,2)}、永谷 創石^{1,2)}、松井 健太郎^{1,2)}、渡部 欣忍^{1,2)}、河野 博隆²⁾
1) 帝京大学医学部附属病院 外傷センター、2) 帝京大学 医学部 整形外科学講座
- 4-6 多職種連携による院内発症脳卒中患者の早期画像診断への新しい取り組み
○川名 由美子¹⁾、石元 玲央²⁾、吉田 賢作²⁾
1) 東京都立広尾病院 看護部 診療支援室、2) 東京都立広尾病院 脳神経外科

口演5：システム変革・その他

第3会場 (301)

6月7日(日) 9:30-10:20

座長：鶴田 理恵 大阪公立大学医学部附属病院
牧野 夏子 札幌市立大学 看護学部

- 5-1 研修期間中から修了後支援までを含めたがんゲノム医療コーディネーター育成の実践報告
○中村 由唯、渡邊 純子、今井 美佳
佐久総合病院 佐久医療センター
- 5-2 身体拘束最小化に向けた老人看護専門看護師と看護部長の協働
—師長・主任教育を基盤とした組織的取り組みの実践—
○河原 教代
香川県厚生農業協同組合連合会 滝宮総合病院
- 5-3 急性期病院における身体拘束最小化チームの活動報告
～一般病棟における転倒転落予防のための拘束を減らす取り組み～
○宮澤 初美、古屋 曜子
順天堂大学医学部附属静岡病院
- 5-4 精神看護専門看護師を含む看護職らによる事例検討会の意義
—特定非営利活動法人による活動の評価から—
○那須 典政¹⁾、宮地 普子²⁾
1) 医療法人社団五風会 さっぽろ香雪病院、2) 北海道医療大学 看護福祉学部 看護学科
- 5-5 外来化学療法室の抗がん剤ばく露の実情調査により改善策を見出す
○片岡 ヤス子
東京大学医学部附属病院

6月7日（日）9:50-10:50

座長：向井 未年子 愛知県がんセンター 看護部
鎌田 未来 関西医科大学

- 06-1 「思いやケアを語る会」に参加したスタッフの気持ちの変化
○柳生 侑希
恩賜財団母子愛育会 総合母子保健センター愛育病院
- 06-2 難治性精神疾患に対する精神展開剤療法 (PAT) 導入に向けた高度実践看護師の役割：文献レビュー
○中谷 春香
所属なし
- 06-3 倫理カンファレンスにおける専門看護師のファシリテーション実践
○荒木 絢子、伊藤 聖美、相澤 加奈、石井 奈奈、川西 亜紀江、佐土根 岳、葛西 陽子
医療法人深仁会 手稲深仁会病院
- 06-4 身体拘束解除における代替手引書の有用性の検討～第2報～
○田本 奈津恵^{1,2)}、寺井 智佳子¹⁾、河原 彩¹⁾、百成 ますみ¹⁾、松本 喜代美¹⁾、若森 紀子¹⁾、安井 正英²⁾
1) 独立行政法人国立病院機構 七尾病院 看護部、2) 独立行政法人国立病院機構 七尾病院 呼吸器内科
- 06-5 がん専門病院の外来看護師による意思決定支援の構造—内容分析による検討—
○河村 奈緒、岡和田 真里奈、下山 美智子、的場 めぐみ、福岡 真実
静岡県立静岡がんセンター
- 06-6 神経難病患者の症状進行に伴う医療チームでの意思決定支援
○阿久津 美代
自治医科大学附属病院 看護部

6月7日（日）10:35-11:25

座長：吉森 容子 済生会新潟県中央基幹病院
平井 克城 名古屋市立大学 医学部 医学研究科 共同研究教育センター・高度実践看護教育研究センター

- 07-1 エイズ治療拠点病院の外来におけるHuman Immunodeficiency Virus（以下、HIV）看護師の実践状況と課題
○杉野 祐子¹⁾、大金 美和¹⁾、照屋 勝治¹⁾、上村 悠¹⁾、後藤 智己²⁾、柿沼 章子²⁾、岩野 友里²⁾、花井 十伍³⁾、潟永 博之¹⁾
1) 国立健康危機管理研究機構（JIHS）国立国際医療センター、2) 社会福祉法人 はばたき福祉事業団、3) 特定非営利活動法人 ネットワーク医療と人権
- 07-2 胸膜癒着療法を支える診療看護師（NP）の活動
○長谷部 亮、政木 佑司、中塚 真里那、遠藤 誠
山形県立中央病院 呼吸器外科

- 7-3 新たな所属施設におけるがん看護専門看護師10年目の役割開発のプロセス
 ○佐藤 香奈
 岩見沢市立総合病院
- 7-4 北陸専門看護師会における役割開発支援の取り組み
 —経験10年以上のCNSによる実践報告会を通して—
 ○内村 恵里子¹⁾、長 光代²⁾、松本 友梨子³⁾
 1) 石川県立中央病院、2) おれんじ訪問看護ステーション、3) 福井県済生会病院
- 7-5 ICU領域パッケージ取得施設における特定行為日導入の効果
 —特定行為件数および院内依頼体制の変化—
 ○三浦 広佑
 医療法人 名古屋徳洲会総合病院

□演8：教育2

第5会場 (305)

6月7日(日) 11:10-12:00

座長：坂木 晴世 国際医療福祉大学大学院
 青柳 道子 札幌市立大学 看護学部

- 8-1 就労移行支援事業所における精神看護専門看護師の教育的介入
 ○宇野 泉
 医療法人社団 ハートフル川崎病院
- 8-2 専門・認定看護師協働によるACP普及・啓発への取り組み
 ～院内・地域・市民を対象としたACP教育研修の実践～
 ○小笠原 倅、西山 晴奈、浅倉 幸奈
 成田赤十字病院
- 8-3 新人看護師の成長実感と指導者の指導実践認識の経時的推移：領域別分析による3者間比較
 ○永井 真理子、三ツ井 菊江、木村 敬子、武村 雪絵
 東京大学医学部附属病院
- 8-4 診療看護師（NP）のコンピテンシーに関する日本国内研究の現状：スコーピングレビュー
 ○池田 達弥¹⁾、西村 礼子²⁾
 1) 東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 プライマリケア看護学領域、
 2) 東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科
- 8-5 老人看護専門看護師の管理実践～病棟看護管理者への教育的介入～
 ○鶴屋 邦江
 新生病院

6月7日(日) 12:45-13:35

座長：谷島 和美 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 看護学科
 梅澤 志乃 東邦大学医療センター大森病院 看護部

- 9-1 複数領域の専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了者による実践・協働のプロセス
 一院内の重症化予防チームの介入により早期退院に至った症例一
 ○武井 千寿、宮久保 朱美、川村 優紀子、小林 大祐、宇佐美 夏美、宮下 香鈴
 山梨県立中央病院
- 9-2 多領域の専門看護師が協働し、コンサルテーションを受けた結果、治療方針の見直しに繋がった
 一例
 ○二瓶 啓徳、大道 美保、福島 範子
 済生会横浜市東部病院
- 9-3 小児緩和ケアチームに所属するがん看護専門看護師による家族ケアに難渋した症例に対するコン
 サルテーションの一例
 ○大西 祐規
 島根大学医学部附属病院
- 9-4 当院における家族看護コンサルテーション体制の構築
 一家族看護相談用紙の導入による介入経路の可視化と運用初期の課題一
 ○鈴木 雅智、加藤 陽子
 日本医科大学付属病院
- 9-5 新規訪問看護ステーションの基盤構築における訪問看護部長の伴走型支援：所長との共創による
 組織管理と地域連携戦略
 ○森田 恭平
 みんなのかかりつけ訪問看護ステーション

6月7日(日) 13:50-14:50

座長：小川 謙 JCHO北海道病院
 石浦 光世 関西医科大学

- 10-1 急性期病院における終末期がん患者の望む暮らしを支える退院支援・退院調整
 ～慢性疾患看護専門看護師の対話と調整～
 ○新屋 理良¹⁾、井上 真奈美¹⁾、和田 悠矢²⁾
 1) 社会医療法人孝仁会 札幌孝仁会記念病院、2) 北海道科学大学 保健医療学部 看護学科
- 10-2 重症急性脳炎患児の移行を支える小児 / 急性・重症看護CNSの協働による高度実践看護
 ○富田 美香、齋藤 大輔
 愛知医科大学病院 小児病棟

- 10-3 輪状甲状靱帯切開術後の気道不安定性を有するICU患者の主体性を尊重し、持てる力を引き出した看護実践の一例
 ○小嶋 万里奈¹⁾、坂木 孝輔²⁾
 1) 東京慈恵会医科大学附属柏病院 看護部、2) 東京慈恵会医科大学 医学部 看護学科
- 10-4 身体拘束解除につながった行動アセスメントとストーマケアの再構築の一事例
 ～GCNSが中心となった多職種連携の実践～
 ○三浦 直子
 発寒リハビリテーション病院
- 10-5 女子生徒に対する皮下植込み型除細動器植え込みを選択するまでの支援
 ○岩瀬 明音
 順天堂大学医学部附属静岡病院
- 10-6 診療看護師(NP)による高齢透析患者へのポリファーマシー介入と薬剤適正化の実践
 —Deprescribing frameworkを用いた多職種協働の一症例—
 ○中尾 昇
 市立青梅総合医療センター 診療局 診療看護師室

口演11：多職種連携・調整2

第4会場 (302)

6月7日(日) 13:50-14:50

座長：坂木 孝輔 東京慈恵会医科大学 医学部 看護学科
 作田 麻由美 小樽市立病院 看護部

- 11-1 II型呼吸不全を呈した終末期患者への苦痛緩和を考慮した呼吸ケア—多職種で介入した1事例
 ○樽松 久美子、中野 由紀子
 北里大学院 看護部
- 11-2 急変前段階の気づきを臨床判断へつなぐ看護実践
 —CCOTにおける急性・重症患者看護専門看護師の役割—
 ○島内 淳二¹⁾、伊藤 博希²⁾
 1) 日本医科大学付属病院 外科系集中治療室、2) 日本医科大学付属病院 医療安全管理部
- 11-3 高度救命救急センターに搬送された患者の子どものメンタルケア
 ○人見 敬子¹⁾、篠嶋 滯¹⁾、相坂 和貴子²⁾、平川 賢史³⁾
 1) 札幌医科大学附属病院 看護部、2) 札幌医科大学附属病院 救急医学講座、
 3) 札幌医科大学附属病院 小児科学講座
- 11-4 マンパワーの壁を乗り越えて 小規模病院のPICC導入戦略
 ○塚田 美香、高地 加代子、池上 舞
 みなみ野循環器病院
- 11-5 急性期病院における身体拘束最小化に向けた取り組み
 ○黄 裕子、寺田 美奈子、蓬 久美子、金田 邦彦、新藤 良太、木下 智弘、山本 裕子、
 大谷 恭平
 地方独立行政法人加古川市民病院機構 加古川中央市民病院

○11-6 重症心身障がい児・者におけるスクリーニングツール導入の意義

—安全な歯科医療の完遂に向けた内部プロセスの整備—

- 伊藤 由香、石ヶ森 友佑、大村 由記、天沼 由美子、島崎 伸子、小山 耕太郎
社会福祉法人新生会 みちのく療育園メディカルセンター

一般演題ポスター

優秀演題ポスター

ポスター会場 (401)

6月7日 (日) 10:35-11:15

座長：上澤 弘美 社会福祉法人同愛記念病院財団 同愛記念病院 看護部
川原 千香子 帝京大学 シミュレーション教育研究センター
審査員：田口 裕紀子 札幌医科大学 保健医療学部 看護学科
神田 直樹 北海道医療大学 看護福祉学部 看護学科

AP-1 当事者の語りの変化を導いたリカバリー志向（精神科）の訪問看護の実践

—病識の獲得を最優先としない臨床判断の一事例—

- 阿部 貴子
合同会社faro訪問看護ステーションぼると

AP-2 高度実践看護師の研究活動における困難への支援へのあり方

- 葛島 慎吾^{1,7)}、松枝 美智子^{2,7)}、江上 史子^{3,7)}、松成 裕子^{4,7)}、増満 誠^{5,7)}、
本武 敏弘^{3,7)}、前田 愛^{6,7)}

- 1) 宮崎県立看護大学 看護学部、2) 沖縄県立看護大学 看護学部、3) 熊本保健科学大学 保健科学部、
4) 福岡国際医療福祉大学 看護学部、5) 日本赤十字北海道看護大学 看護学部、
6) 昭和医科大学烏山病院、亀田医療大学大学院 看護学研究科(博士後期課程)、
7) 九州・沖縄高度実践看護師活動促進協議会

AP-3 多職種チームに所属する看護師のリーダー役割への自己認知とコラボレーティブ・リーダーシップとの関連

- 古川 圭子
摂南大学 看護学部 看護学科

ポスター1：多職種連携・調整・その他

ポスター会場 (401)

6月6日 (土) 11:00-11:50

座長：村中 沙織 天使大学 看護学科
東谷 敬介 札幌市立大学 看護学部

P1-1 高齢者の爪真菌症に対する爪外用液治療の完治に向けた治療継続支援の課題と有効なケアの検討

- 安部 涼子¹⁾、佐藤 智子²⁾
1) 大分県立看護科学大学 基礎看護科学講座 看護アセスメント学、
2) 東京工科大学 医療保健学部 看護学科

P1-2 病棟業務において、インスリン投与・血糖値入力の一括化による業務効率化

- 平井 一成、永井 美貴、藤本 悦子
福山市民病院

- P1-3 がん看護専門看護師によるイギリス在住日本人女性へのプレスト・アウェアネス啓発活動
○伊久美 知佳
金沢さくら医院
- P1-4 複数分野の専門看護師が協働する上で重要と考えること
—組織分析のディスカッションを通して見えてきたもの—
○山田 洋¹⁾、野村 陽子¹⁾、春名 寛香¹⁾、藤原 由佳^{1,2)}
1) 北播磨総合医療センター、2) 清水メディカルクリニック
- P1-5 母親の希望に向き合う看護師を支える
—Scheinのプロセス・コンサルテーションに基づくFCNSの実践—
○勝又 理恵、土屋 桃花、土井 尚美
順天堂大学医学部付属静岡病院

ポスター2：看護倫理・意思決定支援

ポスター会場 (401)

6月6日(土) 15:20-16:00

座長：戸沢 智也 獨協医科大学 看護学部 / 獨協医科大学病院
宮岡 里衣 岡山大学病院 看護教育センター

- P2-1 入院中の高齢患者のせん妄に対する生活史を活かした看護実践
—床屋経験からの髭剃りを通して—
○神田 藍¹⁾、前澤 美代子²⁾
1) 山梨大学医学部附属病院 看護部、2) 山梨県立大学
- P2-2 CNS主導による「倫理で看護を語る看護師の育成」に向けた基盤作り
○三好 あや、石村 愛、飯田 真実子
関西電力株式会社 関西電力病院
- P2-3 A病棟におけるアドバンス・ケア・プランニング支援体制構築
○森木 有加里、長谷川 浩美
旭川赤十字病院
- P2-4 急性期総合病院における領域の異なる専門看護師が協働する倫理チームの活動と評価
○大島 誠、桐田 しおん
地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院

ポスター3：教育

ポスター会場 (401)

6月7日(日) 9:30-10:20

座長：江波戸 和子 帝京平成大学 ヒューマンケア学部
菅 侑也 国際親善総合病院 看護部

- P3-1 看護学生を対象としたポケットエコーを用いた浮腫の観察技術習得のための教育プログラムの評価
○今方 裕子、大岩 奈央、大澤 美菜実、佐藤 由愛、關谷 薫
公立小松大学 保健医療学部 看護学科

- P3-2 急性期総合病院A病棟における倫理的感受性育成の取り組み
 ○岩崎 多津代、高村 里実
 国立病院機構 東京医療センター 看護部
- P3-3 退院支援看護師の実践能力向上にむけた教育介入の効果—教育前後の比較—
 ○小崎 綾子
 順天堂大学医学部附属浦安病院
- P3-4 専門看護師認定者数の地理的分布の分析
 ○友滝 愛¹⁾、奥野 史子²⁾、津田 泰伸³⁾、松本 佐知子⁴⁾、岩谷 美貴子⁵⁾、森岡 典子⁶⁾、
 中谷 英仁⁷⁾、池田 真理⁸⁾、林田 賢史¹⁾
 1) 東京大学大学院 医学系研究科 ナーシングデータサイエンス講座、
 2) 伊勢赤十字病院 看護部 精神看護専門看護師、
 3) 聖マリアンナ医科大学病院 看護部 / TQM室 急性・重症患者看護専門看護師、
 4) 日本赤十字看護大学 さいたま看護学部 老人看護専門看護師、5) 岡山大学病院 看護部、
 6) 国立保健医療科学院 疫学・統計研究部、
 7) 名古屋市立大学 医学研究科 医療統計学・データサイエンス分野、
 8) 東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻 看護管理学 / 看護体系・機能学分野
- P3-5 専門看護師実習に関する文献マッピング：実習の実態と課題の整理
 ○櫻庭 奈美¹⁾、横井 弓枝²⁾、小島 真奈美³⁾、村上 由美子³⁾
 1) 埼玉医科大学 保健医療学部 看護学科、2) 天理大学 医療学部 看護学科、
 3) 埼玉医科大学 国際医療センター

ポスター4：高度実践1

ポスター会場 (401)

6月7日(日) 11:30-12:10

座長：中谷 美紀子 日本医科大学 保健医療学部 看護学科
 中村 江衣 日本医科大学

- P4-1 A病院一般病棟におけるせん妄発症の実態と関連指標の推移
 ○柴原 加奈、奥野 史子
 日本赤十字社 伊勢赤十字病院
- P4-2 国内の嚥下造影検査に用いられる検査食に関する研究の実態と課題：スコーピングレビュー
 ○那須 真弓¹⁾、川添 紀子²⁾
 1) 亀田医療大学 看護学部、2) 日本医科大学付属病院
- P4-3 診療看護師(NP)主導の多職種調整機能の臨床的意義 重度脊髄損傷患者の回復を支えた一例
 ○石井 雅人、森 一直、高林 拓也、小岩 大介
 愛知医科大学病院 NP部
- P4-4 食道がん術後に術後合併症を発症した女性がん患者とのケアリングパートナーシップ
 ○時岡 忠伸
 東京都済生会中央病院

6月7日(日) 12:50-13:30

座長：渡辺 美和 日本赤十字北海道看護大学 看護学部

川名 由美子 東京都立広尾病院

-
- P5-1 令和6年能登半島地震の応急仮設住宅における実践報告
—住民の役割経験を活かした男性の社会参加促進に向けた取り組み—
○野原 正美¹⁾、酒井 彰久²⁾、清水 誉子²⁾、佐々木 麻未³⁾、佐藤 大介²⁾
1) 東北福祉大学 健康科学部 医療経営管理学科、2) 福井大学学術研究院 医学系部門 看護学領域、
3) 日本赤十字社 石巻赤十字病院
- P5-2 精神疾患をもつ患者家族との関わりに困難感を抱く介護支援専門員との連携協働
○稲田 美香
高知大学医学部附属病院 看護部
- P5-3 集中治療を要する重症妊産婦の母子面会実現に向けた専門看護師の調整と多職種協働
○田村 美紀、勝又 理恵、森田 康敬
順天堂大学医学部附属静岡病院
- P5-4 感染管理認定看護師と診療看護師 (NP) が行うPICC回診の現状と課題
○布目 雅博、齋場 三季
名古屋鉄道健康保険組合 名鉄病院

第2回日本高度実践看護学会学術集会 運営委員

■企画委員

学術集会長	石川 幸司	北海道科学大学
企画委員長	田口 裕紀子	札幌医科大学
副企画委員長	森 一直	愛知医科大学病院
委 員	荒井 知子	杏林大学医学部附属病院
	伊藤 真理	大阪医科薬科大学
	宇都宮 明美	関西医科大学
	岡村 英明	NTT東日本札幌病院
	長内 さゆり	天使大学
	菅原 美樹	札幌市立大学
	田中 いずみ	手稻溪仁会病院
	永谷 創石	帝京大学医学部附属病院
	東 めぐみ	順天堂大学
	藤野 智子	聖マリアンナ医科大学病院
事務局長	福島 綾子	北海道科学大学
事務局員	橋本 直弥	北海道科学大学
	和田 悠矢	北海道科学大学

■プログラム委員

委員長	田口 裕紀子	札幌医科大学
委 員	伊藤 聖美	手稻溪仁会病院
	神田 直樹	北海道医療大学
	永谷 創石	帝京大学医学部附属病院
	牧野 夏子	札幌市立大学
	森 一直	愛知医科大学病院
	山下 いずみ	江別市立病院

■セミナー運営委員

井口 久美	天使大学
石岡 明子	北海道大学病院
伊藤 聖美	手稲溪仁会病院
井上 真奈美	札幌孝仁会記念病院
太田 愛	手稲溪仁会病院
川添 恵理子	北海道医療大学
神田 直樹	北海道医療大学
桑村 直樹	手稲溪仁会病院
作田 麻由美	小樽市立病院
鹿内 あずさ	北海道文教大学
寺澤 友	札幌厚生病院
中島 和英	北海道がんセンター
中村 江衣	日本医療大学
平山 さおり	KKR札幌医療センター
牧野 夏子	札幌市立大学
村本 好孝	株式会社ここから
渡部 大地	手稲溪仁会病院
渡辺 美和	日本赤十字北海道看護大学

■実行委員

石貫 智裕	札幌医科大学
井上 真奈美	札幌孝仁会記念病院
大森 桃子	札幌清田病院
小川 謙	JCHO北海道病院
川村 真澄	札幌厚生病院
神田 直樹	北海道医療大学
木村 恵美子	札幌医科大学
佐藤 知史	愛知医科大学病院
能見 真紀子	所属なし
泥谷 朋子	東都大学
福田 智子	砂川市立病院
八幡 梨恵	恵佑会札幌病院
吉田 奈美江	天使大学
渡部 有希	市立札幌病院

協賛一覧 (50音順)

第2回日本高度実践看護学会学術集会の開催にあたり、多くの皆様からご協力いただきました。
ここに深く感謝の意を表します。

学術集会長 石川 幸司

共催セミナー

テルモ株式会社

フクダコーリン株式会社

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

企業展示・書籍展示

エア・ウォーター・メディカル株式会社

日本シグマックス株式会社

株式会社 紀伊國屋書店 札幌本店

バクスター・ジャパン株式会社

株式会社キュアメド

株式会社VIPグローバル

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター

フクダコーリン株式会社

辻本メディカル株式会社

株式会社メルシー

ニプロ株式会社

Wonder Drill株式会社

プログラム集広告

株式会社医学書院

株式会社ここから

カーディナルヘルス株式会社

助野株式会社 札幌支店

株式会社Gakken

ホームページバナー広告

エルゼビア・ジャパン株式会社

株式会社日総研出版

幕間スライド広告

株式会社メディカ出版

(2026年4月30日現在)

ICNR

INTENSIVE CARE NURSING REVIEW

クリティカルケア領域
No.1ジャーナル

ICUナース
必携の情報誌



ICNR (Intensive Care Nursing Review)は、クリティカルケア看護の実践のためのエビデンスに基づいたグローバルスタンダード知見を、正しく、わかりやすく伝える情報誌です。本誌を通してクリティカルケア看護の最新知識を知り、臨床での実践につながるよう解説していきます。

これからのケアの方向性を提案します

毎号テーマを設定、クリティカルケア看護に必要な、
最新のエビデンスと実践をわかりやすく解説。

Gakken

株式会社Gakken メディカル事業部

〒141-8416 東京都品川区西五反田2-11-8 Mail : med-hanbai@gakken.co.jp

すべての人々に質の高いEOLケアを届けるために

ELNEC-Jクリティカルケアカリキュラムで学ぶ エンド・オブ・ライフ・ケア

End-of-Life Nursing Education Consortium
Japan Critical Care Curriculum

編集

任 和子

京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻
先端中核看護科学 教授

宇都宮明美

関西医科大学看護学部
クリティカルケア看護学領域 教授

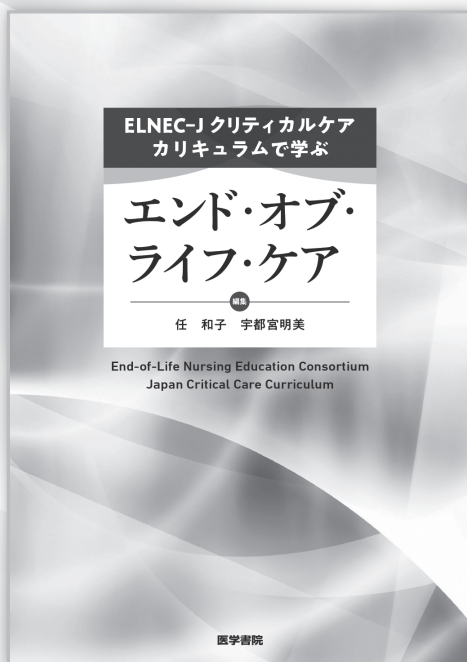
ELNEC-JCC 看護師教育プログラムのモジュールに基づく構成で、クリティカルケア領域における EOL ケアを体系的に解説。EOL ケアに関する基本的な考え方や倫理的視点、クリティカルケア領域特有の状況を踏まえた看護実践、看取りに至るまでの患者・家族への関わり、多職種連携の考え方などについて示す。さらに、巻末の付録では、具体的な状況を設定した 4 つの事例を提示。EOL ケアについて考え、省察するのに役立つ。

序論

- 1 クリティカルケア領域における
エンド・オブ・ライフ・ケア
- 2 痛みのマネジメント
- 3 症状マネジメント
- 4 倫理の実践
- 5 文化とスピリチュアリティ
- 6 コミュニケーション
- 7 悲嘆
- 8 看取り

付録 クリティカルケア領域における
エンド・オブ・ライフ・ケアを
考えるための 4 事例

目次



●B5 頁240 2026年 定価：3,520円
(本体3,200円+税10%) [ISBN978-4-260-05297-9]



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト]<https://www.igaku-shoin.co.jp>

精神科看護の専門家が あなたの現場へ

看護実践・コンサルテーション・教育研修・メンタルヘルスサポート

コンサルテーション

対応困難事例への新しい視点・考え方をご提案。外部の専門家が関わることで新しい風を

教育・研修

精神科看護・SST・臨床倫理・コミュニケーション研修。自施設に合わせた内容で

メンタルヘルスサポート

職員・新人看護師のメンタルヘルスケア。外部看護師だから話せることがあります

看護実践

訪問看護・精神科デイケア・一緒に実践しながらのコンサルテーションも対応

精神科病院での豊富な経験を活かし独立
臨床教育・困難事例への関わり・メンタルヘルスケアを展開

▼ ▼ 詳細はこちら ▼ ▼



訪問看護ぱるもい's



(株)ここから



北海道精神科看護ch

代表取締役 村本好孝（むらもとよしたか）

精神科専門看護師 精神科認定看護師 認定看護管理者 SST普及協会認定講師

☎ 090-8905-0666 ✉ otoiwase@manabi.in

Argyle™ Fukuroi

Argyle™ Fukuroiは、静岡県袋井市にある袋井R&Dセンター、袋井工場に開発・製造を由来する製品のブランドです。

袋井工場では1974年の竣工以来、数多くの製品を製造し

日本の医療の現場にお届けしてまいりました。

国内の医療従事者の声を反映し、日本の患者さんに適した製品設計で

日本の医療の安全を追求します。



Argyle™ Fukuroi
SMAC プラス
医療機器承認番号
21900BZX00953000



Argyle™ Fukuroi
PICC キット
医療機器承認番号
21900BZX00862000



Argyle™ Fukuroi
PI カテーテル キット
医療機器承認番号
20700BZZ01224000



Argyle™ Fukuroi
Midline カテーテル
医療機器承認番号
30400BZX00215000

お問い合わせ先

カーディナルヘルス株式会社

TEL 0120-917-205

cardinalhealth.jp



©2026 Cardinal Health. All rights Reserved.
CARDINAL HEALTH, Cardinal Healthロゴ, ARGYLEは
Cardinal Healthの商標又は登録商標です。



Think Safety

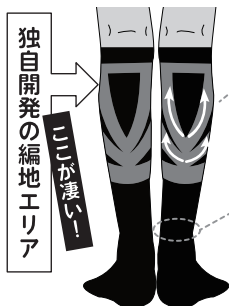
日本の医療の安全を追求します

※着脱時間には個人差がございます。

履くのは6秒!脱ぐのは3秒!

“ラクに履けて、ラクに脱げる”
新発想の着圧ソックス。

らく圧



圧強

ふくらはぎの筋肉を
持ち上げて
引き締める!

足首
圧弱

筋肉が少ない
足首部分は圧を
弱め、脱ぎ履き
楽ラクに改善!

「らく圧」って
どんな靴下? 詳しくは▶
//「らく圧」の凄さを//
ぜひご確認ください!



医療従事者様限定
ショッピングサイトは▶
(会員登録をお願いします)
※特別価格でご購入が出来ます。



会員続々増加中! リピーター多数!



助野株式会社
富山県高岡市上伏間江1番地
www.sukeno.co.jp